



病棟: _____ 様

治療方針: 膿胸・肺化膿症保存的治療(抗生剤投与・ドレーナージ治療)Ver.2







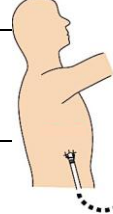

特別な栄養管理の必要性: 有: 無

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族様サイン欄:

| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 ~ |
|--|--|-----|-----|--|--|---|
| | 入院日 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目以降(治療期間2-3週間程度) |
| 安静度 リハビリ 退院 |  <p>基本的に院内自由ですが、病状に応じ活動を制限することもあります。 リハビリを継続し、退院後の生活に備えます(リハビリ部門介入を希望されない場合は、お申し出ください)。</p> | | | | | |
| 食事 | <p>食事制限はありません。(高血圧・糖尿病・腎不全などの方は、治療食をお出しすることがあります。)</p> | | | | | |
| 注射 薬剤 | <p>・病状に応じて、モニターをつけて経過観察を行うことがあります ・抗菌剤を点滴・内服します</p>  | | | |  <p>退院に向けて、自宅での生活に近づけるよう努めましょう。 できるだけベッドから離れて、手術前の生活に近づけましょう。</p> | |
| | <p>・いつも飲んでる薬は通常通り内服してください(中止するように指示された薬は飲まないでください)</p>  <p>・痛み止めを内服いたします。(痛みが強い場合は、スタッフに相談してください。鎮痛剤追加などで対応いたします。)</p> | | | |  | |
| 検査 | <p>治療に必要な検査を適宜行います。 ・レントゲン、採血(必要に応じて入院中に何回も行います) ・CT ・心電図など</p>  | | |  <p>・病状が改善次第ドレーン(管)を抜去します</p> | | |
| 処置 | <p>・必要に応じ、胸腔ドレーン(管)を挿入する処置を行います。 (ドレーンから生理食塩水を入れて胸の中を洗浄することがあります。) ・必要に応じ酸素を投与します</p> | | | | | |
| 清潔 排泄 | <p>・マニキュアを落としてください ・ひげ剃りを持参してください(電動) ・タオルで体を拭けます ・可能ならトイレを使用してください</p>  <p>・ドレーン(管)が入っていても、洗面台で洗髪は可能です(スタッフに相談してください)</p> | | | | | |
| 患者さま および ご家族への 説明 | <div style="border: 2px solid orange; padding: 10px;"> <p>【膿胸: 治療方針や退院の目安】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膿胸は、胸の中(肺の外側)に膿が溜まる病気であり、治療には2-3週間以上必要であることもめずらしくありません。 ・肺炎に併発することが多いです。 ・感染に対し、抗生剤投与を行います。 ・病状により、膿を抜く管(ドレーン)を入れます。 ・改善した後、胸腔ドレーン(管)を抜去し、レントゲンなどで数日経過観察を行い退院といたします。 </div> | | | | | |
| | <div style="border: 2px solid purple; padding: 10px;"> <p>【手術を検討する場合】 ※担当医師からの説明があります 胸の中に膿瘍が貯留し、感染が改善しない場合や肺の拡張が不十分な場合に、内視鏡手術などにより、膿瘍を排出する処置が必要である場合があります。</p> </div> | | | | <p>退院後使用される痛み止め・その他薬剤について薬剤師より説明があります。</p> | |
| <p>・入院治療計画について説明があります。 ・処置などについて医師より説明を受けた後、同意書を提出してください。 ・入院中は、ご自身の体調を管理していただくために 私の体調記録を自由に記入してください</p> | | | | | | <p>退院について説明があります。 入院証明書や診断書が必要な方は、入院中は病棟クラークに、退院後は外来クラークに提出してください。 次回受診日は、別紙を参照してください。 外来受付時間: 8時00分~11時30分</p> |